



決勝戦で激闘を繰り広げ勝利した仁井田米コメッツ

激闘！町内チームによる決勝戦

社会を明るくする運動の一環として高幡子ども会親善ソフトボール大会が7月12日に窪川運動場で開催されました。

県内から6チームの参加があり、決勝戦は町内チームの仁井田米コメッツと十川スポーツ少年団の対戦となりました。試合は、決勝戦にふさわしい大接戦となり、5対5で試合時間内に決着がつかずタイブレーク（2回）に。そこでも一進一退の攻防でスコアは動かず、抽選で勝敗を決めることになりました。その結果、仁井田米コメッツの優勝。今年もご協力いただきました関係団体の皆さま、ありがとうございました。



東又小学校の6年生と地元愛にあふれた各団体代表者

未来へ届け！食育絵本の寄贈

四万十ポークブランド推進協議会と窪川養豚協会から、食育絵本「いただきますって？」が町内の全小中学校、高校、保育所、図書館に配布されました。これは「地元食材への愛着と命への感謝を伝えたい」という両団体の想いから実現したもので、7月16日に東又小学校で贈呈式が行われました。給食では、「大切に育てられたおいしい四万十ポークをしっかりと味わって、たくさんのありがとうを込めていただきます」と放送があり、みんなでおいしそうに食べていました。地域の宝である子どもたちを、地域全体で育む温かい輪が広がっています。



迫力満点！障害物競走での綱ぐり

集落に響いた大歓声！

今年も大正中津川地域の名物行事「どろんこ運動会」が7月19日、集落活動センターこだま前の田んぼで開催されました。参加者はなんと町内外から約100人と犬1匹。今年は、四万十高校生も参加し泥まみれもなんのその！いかに泥まみれになれるのか、勝負でも熱い戦いを繰り広げていました。

「6人7脚」は息をそろえて全力疾走！名物競技の「男相撲・女相撲」では1戦ごとに大歓声。優勝チームは「ゆみっふいー」初出場での優勝でした。普段は穏やかな集落に、大勢の人たちが集まり大歓声が響き渡った1日となりました。



親子での共同作業に真剣

夏休み木工教室

青少年の健全育成を目的に、夏休み木工教室が7月26日に農村環境改善センターで行われました。高知県立森林研修センターから4名の講師をお迎えし、63名の児童・生徒と保護者約25名で開校されました。森林環境についてのクイズを交えた学習をした後、2班に分かれて作業に取り掛かりました。木工ボンドで作る「鉛筆立て」はドングリや小枝を思い思いに飾り、個性あふれる作品が生まれました。トンカチとクギを使った「引き出し付き本立て」は、慣れない作業に苦労しながらも力作を完成させていました。参加者は「家に持ち帰っているんなものを飾りたい」とうれしそうに話していました。